

令和2年7月豪雨災害に係る本院の救護活動について

大阪大学医学部附属病院長

この度の熊本豪雨災害により被災されましたすべての方々に、心からお見舞い申し上げます。大阪大学医学部附属病院といたしましては、被災された皆様に1日も早く平穏な日常生活を取り戻していただけるよう少しでもお役に立てればという気持ちを込めて、下記の救護活動を行っております。

1. 令和2年7月17日(木)厚生労働省DMAT事務局の要請に基づき大阪府から熊本県へロジスティックチームの派遣が行われることになり、本院から医師1名、熊本県庁人吉・球磨医療圏保健医療調整本部に派遣。
2. 令和2年7月18日(金)午前11時より人吉・球磨医療圏保健医療調整本部にて活動開始
3. 令和2年7月19日(土)午前7時より人吉・球磨医療圏保健医療調整本部活動に従事及び避難所視察
4. 令和2年7月20日(日)午前7時50分より避難所視察、災害支援ナース情報収集業務に従事
5. 令和2年7月21日(月)午前8時30分より人吉・球磨医療圏保健医療調整本部にて午前11時より大規模避難所にて救援活動実施
6. 令和2年7月22日(火)午前7時30分より本部にて体温管理体制の構築についての支援活動に従事
7. 令和2年7月23日(水)午前8時より本部、避難所にて支援活動に従事
8. 令和2年7月24日(木)総ての任務を終了し帰院

(令和2年7月24日現在)